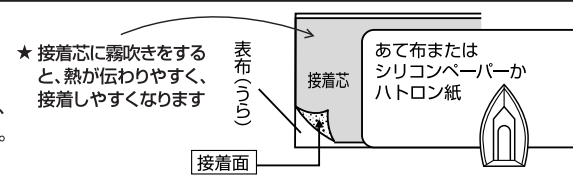


STEP 1
A~Gの中から、作るポーチの形を決め、材料を準備する
A Bは、ポケットの有無についても決める
 * 説明書3面(2枚目・表) STEP5「ABCの作り方」参照

STEP 2
 表布に接着芯を貼る
 ※ **E G**は裏布にも貼る
 表布の裏面と接着芯の接着面を合わせ、上から押さえるようにアイロンをあてる。(ドライ・約10秒)



アイロンはすべらずに持ち上げ、すき間をあげないように移動させながらあてる。

※アイロンの温度は、布地や接着芯の適正温度に準じて設定してください

● 布目の方向 ●
 みみ(布幅の両端)を左右に見て、縦の方向をたて地と言ひ、布目の方向になります。
 たて地は伸びにくい性質があるので、布目を通すと、型くずれしにくくなります。
 * 柄生地の場合、見せたい柄の方向に合わせて、布地を裁断してもかまいません

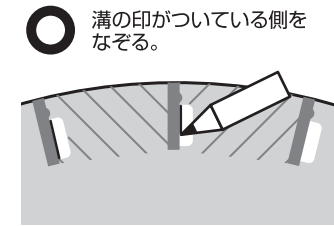
	A スタANDARD	B タック付	C ロング	D シングル	E ダブル	F タック付シングル	G タック付ダブル
ポーチのカタチ	 タテ ヨコ マチ 10×17×8cm ※イラストは両開きファスナーを使用した例	 タテ ヨコ マチ 7.5×17×8cm ※イラストは両開きファスナーを使用した例	 タテ ヨコ マチ 4×21×8cm ※イラストは両開きファスナーを使用した例	 タテ ヨコ マチ 10×16×5cm	 タテ ヨコ マチ 10×16×5cm	 タテ ヨコ マチ 8.5×12×5cm	 タテ ヨコ マチ 8.5×12×5cm
テンプレートの使用箇所							
型(パターン)							
材	<ul style="list-style-type: none"> ● 表布 ● 表布用接着芯 ● 裏布 ● 表マチ ● 表マチ用接着芯 ● 裏マチ ○ よこ長ポケット 7.5×25cm ○ たて長ポケット 11×20cm ● ファスナー 30cm (両開きタイプがおすすめ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 表布 ● 表布用接着芯 ● 裏布 ● 表マチ ● 表マチ用接着芯 ● 裏マチ ○ たて長ポケット 11×20cm ● ファスナー 25cm (両開きタイプがおすすめ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 表布 ● 表布用接着芯 ● 裏布 ● 表マチ ● 表マチ用接着芯 ● 裏マチ ● ファスナー 25cm (両開きタイプがおすすめ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 表布 ● 表布用接着芯 ● 裏布 ● ファスナー 20cm 	<ul style="list-style-type: none"> ● 表布 ● 表布用接着芯 ● 裏布 ● 裏布用接着芯 ● ファスナー 20cm 2本 ● ホック釦 2組 	<ul style="list-style-type: none"> ● 表布 ● 表布用接着芯 ● 裏布 ● ファスナー 15cm 	<ul style="list-style-type: none"> ● 表布 ● 表布用接着芯 ● 裏布 ● 裏布用接着芯 ● ファスナー 15cm 2本 ● ホック釦 2組
料							

※布地の用尺には実際に使用する大きさの四方に1cmの余尺を設けています。

STEP 3 選んだポーチの「テンプレートの使用箇所」に沿って印つけをする

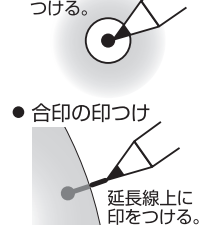
STEP 4 縫いしろ線に沿って布地を裁断する

● 溝の印つけ

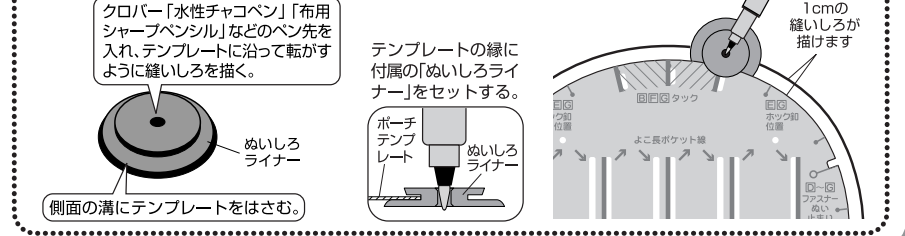


- ✗ 印がない側をなぞる。
- ✗ 溝の中心に印をつける。
- ✗ 溝全体に印をつける。

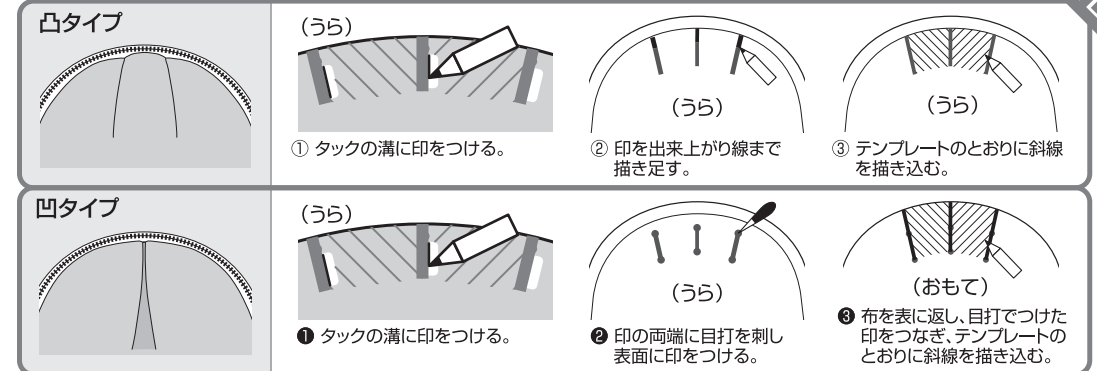
● 丸穴の印つけ



縫いしろの描き方



タックの印の描き方 (お好みで凸・凹どちらかのタイプを選んでください ※F・G裏布は凹タイプでつくります)
★タックの印を、布の表面・裏面どちらに描くかで、仕上がりのタックの形が変わります



A 表布・裏布 **B** 表布 **テンプレートA**を使用

各1枚

※表布には接着芯を貼っておきます

A 表マチ・裏マチ **テンプレートB**を使用

各2枚

※表マチには接着芯を貼っておきます

B 裏布 **C** 表布・裏布 **テンプレートB**を使用

各1枚

※表布には接着芯を貼っておきます

B 裏布 **C** 表マチ・裏マチ **テンプレートB**を使用

各2枚

※表マチには接着芯を貼っておきます

D 表布・裏布 **E** 表布 **テンプレートA**を使用

各1枚

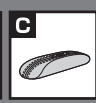
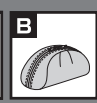
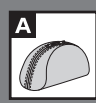
※表布には接着芯を貼っておきます

E 裏布 **G** 裏布 **テンプレートA**を使用

各1枚

※接着芯を貼っておきます

STEP 5 の作り方



★縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをしてください



ポケットを付ける場合

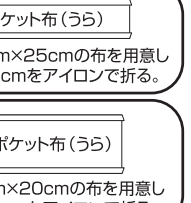
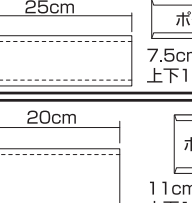
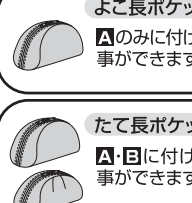
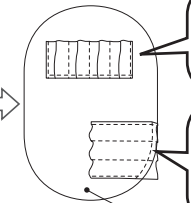
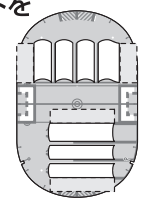


ポケットを付けない場合



1. ポケットを作る

※Cにはポケットを付けません。



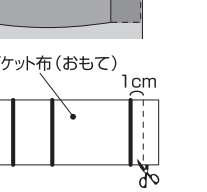
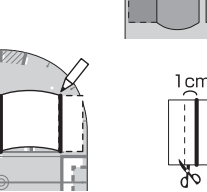
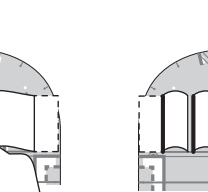
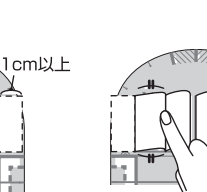
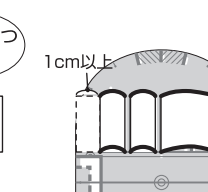
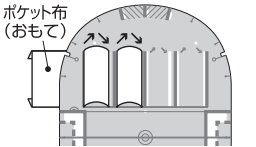
よこ長ポケット ポケット布の準備 25cm
Aのみに付ける事ができます。 7.5cm
ポケット布(うら) 7.5cm×25cmの布を用意し上下1cmをアイロンで折る。

たて長ポケット ポケット布の準備 20cm
A・Bに付ける事ができます。 11cm
ポケット布(うら) 11cm×20cmの布を用意し上下1cmをアイロンで折る。

入れたいものに合わせて調節

よこ長ポケットの作り方

1. ポケット布に印をつける



① テンプレートAの「よこ長ポケット線」の左端の溝の下からポケット布を出し、作りたいポケットの幅に合わせて下向き矢印の溝に入れる。

② 作りたいポケットの数だけ、ポケット布を上向き矢印の溝から出し、下向き矢印の溝に入れる作業を繰り返す。最後は右端の溝に入れる。

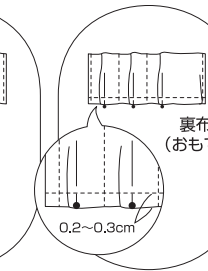
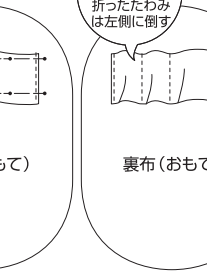
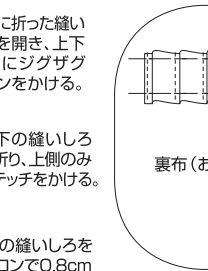
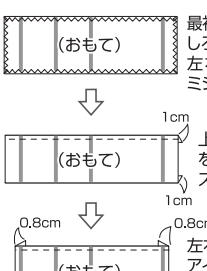
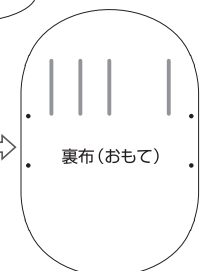
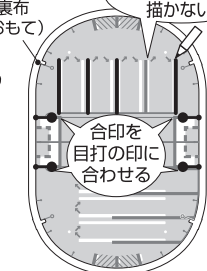
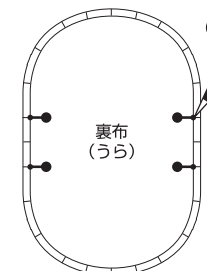
③ 入れたいもの大きさに合わせてたわみを作る。布の両端は縫いしろ分として1cm以上残しておく。

④ ポケットの大きさを決めたら、たわみを右に向けて倒し、上下が同じ幅になるよう整える。

⑤ 「よこ長ポケット線」(オレンジの線)に沿ってポケット線を描く。

⑥ ポケット布をテンプレートから抜き、両端をポケット線から1cmのところで裁断する。

2. 裏布に印をつける



① 合印4ヶ所に目打を刺し、裏布の表面に印をつける。

② 裏布を表に返し、目打でつけた印にテンプレートAの合印を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線を裏布の表面に描く。

③ 裏布にポケット布を縫い付ける

最初折った縫いしろを開き、上下左右にジグザグミシンをかける。

上下の縫いしろを折り、上側のみステッチをかける。

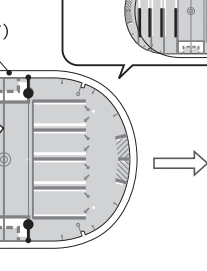
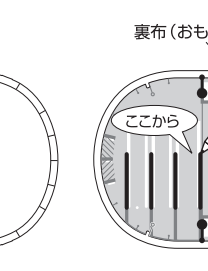
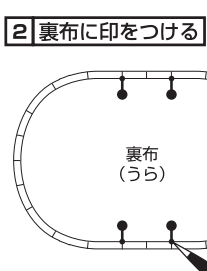
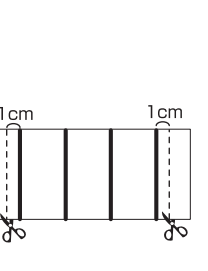
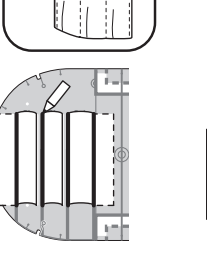
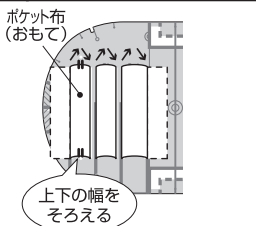
左右の縫いしろをアイロンで0.8cmに折る。

② ポケット布につけたポケット線と、裏布の表面につけたポケット線を合わせて待針で止める。ポケット線を縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

③ たわみ部分の布を折って待針で止める。ポケット底を縫う。縫い始め・縫い終わりと布の重なった部分は返し縫いをする。

たて長ポケットの作り方

1. ポケット布に印をつける



① テンプレートAの「たて長ポケット線」の溝に、よこ長ポケットの①～④と同じ手順でポケット布を通す。

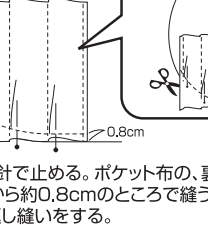
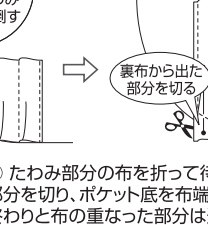
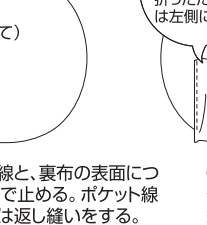
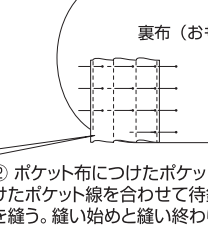
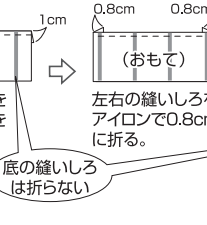
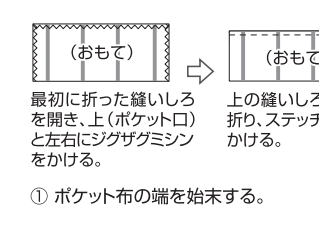
② 「たて長ポケット線」の印がある溝に沿って、端から端まで線を描く。

③ ポケット布をテンプレートから抜き、両端をポケット線から1cmのところで裁断する。

① 合印4ヶ所に目打を刺し、裏布の表面に印をつける。

② 裏布を表に返し、目打でつけた印にテンプレートAの合印を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線を「たて長ポケット線」(オレンジの線の部分のみ)に沿って描く。テンプレートはずした後、布端まで線をつなぐ。

3. 裏布にポケット布を縫い付ける



① ポケット布の端を始末する。

最初折った縫いしろを開き、上(ポケット口)と左右にジグザグミシンをかける。

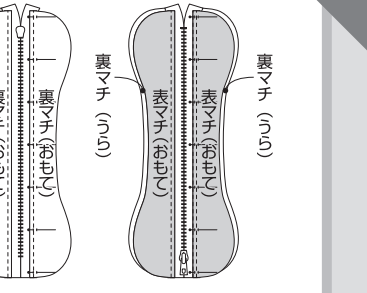
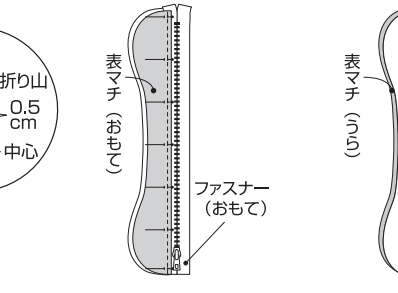
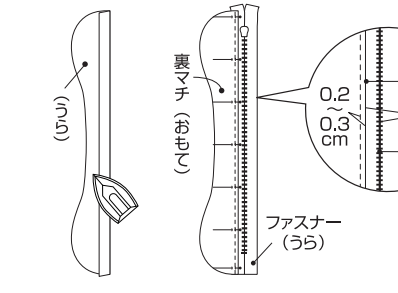
上の縫いしろを折り、ステッチをかける。

左右の縫いしろをアイロンで0.8cmに折る。

② ポケット布につけたポケット線と、裏布の表面につけたポケット線を合わせて待針で止める。ポケット線を縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

③ たわみ部分の布を折って待針で止める。ポケット布の、裏布からはみ出た部分を切り、ポケット底を布端から約0.8cmのところで縫う。縫い始め・縫い終わりと布の重なった部分は返し縫いをする。

2. マチにファスナーを付ける

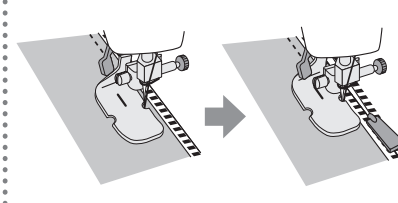


① 表マチ・裏マチとも袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏マチをファスナーの裏面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

② 表マチをファスナーの表面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

③ もう一方に、裏マチ・表マチを①②と同様の手順で合わせ、縫う。

基本的ファスナーの縫い方

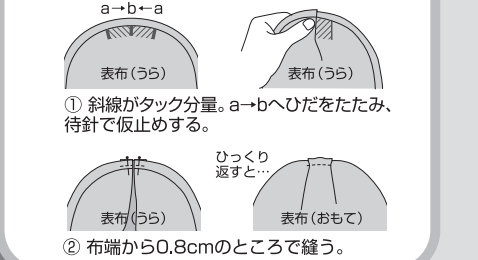


★ファスナー押さえがない場合は、普通の押さえ金をご使用ください。

1. 押さえ金をファスナー専用のものにつけ替える。ファスナーを開けたままミシンで縫う。

2. スライダーの近くまできたら針を落とし、そのまま押さえ金を上げ、スライダーを針の後ろ側へ動かす。

B. 目の布にタックを作る



△タイプの場合
*凹タイプの場合は4面(裏面)「タックの縫い方」参照

a→b→a

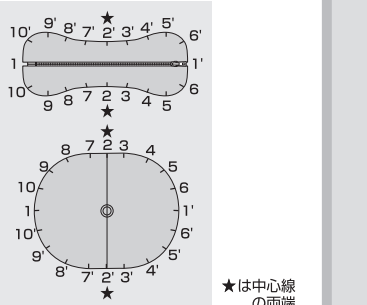
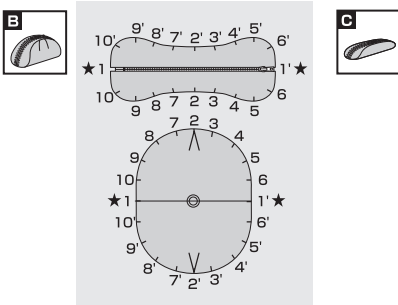
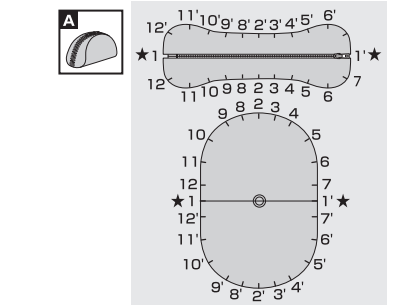
① 斜線がタック分量。a→bへひだをたたみ、待針で仮止めする。

ひっくり返すと...

② 布端から0.8cmのところで縫う。

3. 本体を縫い合わせる

合印の合わせ方 同じ番号同士を合わせ、待針で止める。最初にファスナー両脇(1・1')を合わせ、その後片側ずつ2~、2'~を合わせる。

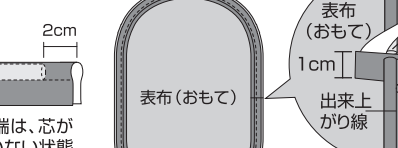


★は中心線の両端

※ファスナーを少し開けて縫う



バイピングを付ける場合



芯のきわ 2cm

表布(おもて) 1cm

縫い始め 0.8cm

出来上がり線

① 表布と表マチを中表にし、合印を合わせて表布・表マチ・裏マチ3枚一緒に、表布側から待針で止める。出来上がり線より0.1~0.2cm外側で縫い合わせる。縫い終わったらファスナーを開ける。

片方の端は、芯が入っていない状態にしておく。

両端のつなぎ目は、芯の入っていない布端を1cm折り、重ねてくるむ。

表布の出来上がり線とバイピングの芯のきわを合わせて、待針で止める。縫い始め(芯が端まで入っている方)は端を1cm残して縫い始める。布端から約0.8cmのところで縫い合わせる。

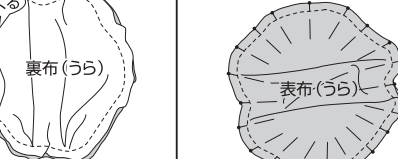
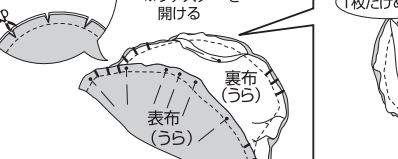


「コの字とじ」



布の内側から針を出し折り山に直角に糸を渡して細かくなる。

カーブに出来上がり線ギリギリまでの切り込みを入れる



② 裏布と①を中表にし、合印を合わせて表布・表マチ・裏マチ・裏布を、4枚一緒に表布側から待針で止める。

返し口を作るため、約10cmを縫わないようにめくり、待針で止めておく。

③ 表布側から、出来上がり線で縫う。

④ 返し口から表に返し、返し口をまつて閉じる。

完成

STEP 5 **D** **F** **の作り方**
★縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをしてください

1. 表布・裏布にファスナーを付ける
*下記「基本のファスナーの縫い方」も参照

D 表布の袋口にステッチがある縫い方です

① 裏布の表面とファスナーの裏面を合わせ、縫う。(出来上がり線をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。ファスナーの端を、ファスナーの裏側に折る。)

② 布を裏返し、縫いしろを①の縫い目で折り返す。

③ 表布の袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。②に外表で合わせ、表布・ファスナー・裏布を縫う。(折り返しをファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

④ 裏布のもう一方の袋口を①と同様にファスナーに合わせ、縫う。

⑤ 表布のもう一方の袋口を③と同様にファスナーに合わせ、縫う。

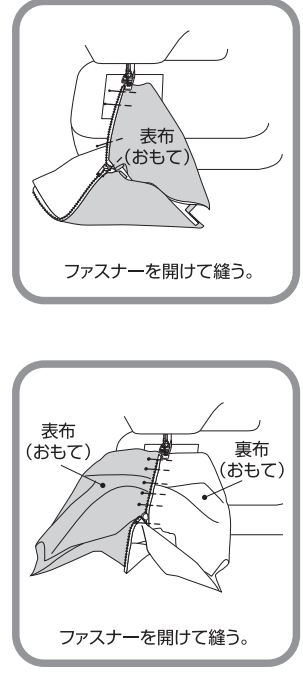
F 表布の袋口にステッチがない縫い方です

① 表布とファスナーを中表に合わせ、縫う。(出来上がり線をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。ファスナーの端を、ファスナーの裏側に折る。)

② 裏布の袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏布をファスナーの裏面に合わせ、裏布とファスナーを縫う。(折り返しをファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

③ 表布のもう一方の袋口を①と同様にファスナーに合わせ、縫う。

④ 裏布のもう一方の袋口を②と同様にファスナーに合わせ、縫う。



2. 脇とマチを縫う ★Dを例に説明しています

※ファスナーを少し開けて縫う

① 中表の状態にし、表布同士・裏布同士で脇を縫う。裏布に返し口を残しておく。

② 表布・裏布ともマチを縫う。

③ 返し口から表に返し、返し口をまっすぐに閉じる。

完成

STEP 5 **E** **G** **の作り方**
★縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをしてください

1. 表布・裏布とも、縫いしろにジグザグミシンをかける

2. 表布・裏布にファスナーを付ける *下記「基本のファスナーの縫い方」も参照

E 表布の袋口にステッチがある縫い方です

① 表布・裏布とも袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏布をファスナーの表面に合わせ、縫う。(折り返しをファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

② 裏布のホック釦位置に、ホック釦を付ける。

③ 表布をファスナーの表面に合わせ、縫う。(折り返しをファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

④ もう一方も③と同様に縫う。

G 表布の袋口にステッチがない縫い方です

① 裏布の袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏布をファスナーの表面に合わせ、縫う。(折り返しをファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

② 裏布のホック釦位置に、ホック釦を付ける。

③ ②と表布を中表に合わせ、縫う。(出来上がり線をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

④ ひっくり返すと

3. 脇とマチを縫う ★Eを例に説明しています

① 中表の状態にし、マチ部分を残して脇を縫う。

② 反対側も同様に縫う。

③ マチを縫う。

4. 中心を縫う ★Eを例に説明しています

① ファスナー口から表に返す。

② 「国回裏布中心」(目打をつけておいた印)を表布・裏布一緒に待針で止める。

③ 裏布のたわみでタックを作る。中心からの位置が均等になるようにタックをたたみ、待針で止め、中心線を縫う。

完成

基本のファスナーの縫い方 ★ファスナー押さえがない場合は、普通の押さえ金をご使用ください。

1. 押さえ金をファスナー専用のものにつけ替える。ファスナーを開けたままミシンで縫う。

2. スライダの近くまできたら針を落としたまま押さえ金を上げ、スライダを針の後ろ側へ動かす。

タックの縫い方

① 斜線がタック分量。a→bへひだをたたみ、待針で仮止めする。

② 布端から0.8cmのところを縫う。

③ ひっくり返すと

④ 斜線がタック分量。a→bへひだをたたみ、待針で仮止めする。

⑤ 布端から0.8cmのところを縫う。